



# 除隊兵に 土産物を

## 望むなと

### 朝鮮聯隊の通達

本日歩兵朝鮮聯隊の聯隊より郡内各町村に除隊兵の土産物廢止に就いて指導方通達あつたがこれは從來の除隊兵の土物に對する負擔金が仲々莫大なるものになる結果に徴し折角國家のために働いて歸つて來る兵士に無駄な冗費をかけるやうな云ふので時局柄積年の弊風たる此の除隊兵の土産物を廢止仕様とするもので同聯隊では十月除隊兵に對して夫々廢止に就き指導し十二月除隊兵に對しても引續き廢止に勉めてゐるの各町村當局並に在郷軍人分會も協力して一般に除隊兵に何か土産物を望むが如き觀念の一掃に努めて欲しいといふにある

# 合併交渉

## 益々進む

### けふは平窪と内郷

昨日の飯野を皮切りにけふは午前平窪村、午後内郷村に對し夫々平窪側委員が出張合併の交渉を試みた、勿論未だ海のものとも山のものとも判然した回答に接するに及ばないが平窪村では村會、内郷村では部落協議會を開いて態度を決する模様であり前途に多少の難關はあるも比較的案ずるよりも生むが易い良結果を見るのではないかと、明日は神谷、好間に交渉を行つて一渡り附近隣接村へ

の第一工作を完了する

### 吏員互助

會費を不納 支會長督促

郡内各町村吏員互助會費及び補給金の拂込は各町村共に成績思はしくなく十一月十六日現在未拂町村は左記の如くで處理上支障あるため之が完納方を本十九日支會長青沼平町長より各町村に通告した (八月以降) 錦村 大野村

(九月以降) 植田 勿來 上遠野 豊間 江名 鹿島(十月以降) 山田 田人 組合 夏井 赤井 澤渡 組合

# 縣議の割當

## 石城が増加

### 國調の結果人口増加

十月一日午前零時を期し全縣下一齊に行はれた國勢調査の結果本郡の人口は二十二萬七千七百餘人で昭和五年施行された國勢調査の總人口二十一萬三千餘人に比し一萬七千四百名を増加し本縣第一の大郡の面目躍如たるものがあり更に人口一萬人以上の縣下十一町村中左の六町村は本郡で占め次の本縣々會議員の定員増加の第一の候補地となつてゐる

△内郷村二萬九千九百名  
△平町二萬五千七百名

職員庭球試合 平第一對平第二校の職員對抗庭球試合は明日二十日午後二時から平第一校コートで舉行する

### 大野村

#### 菜種指導植付

大野村農會は来る廿日同村菜種指導地の植付をなすことになり水田二毛作菜種指導地に於て一段歩から三石の實收成績を収めて郡内に名譽ある前村精農家鈴木寅之輔氏の實際指導を受ける

# 三千五百の健兒が

## 壯烈な白兵戦展開

### 郡下青年學校聯合演習

石城郡青年學校聯合會の聯合野外演習は来る卅日より二日間小名濱町を中心に舉行されるが、参加健兒は約三千五百名で平町を中心とする北軍は比佐大尉指揮の下に小名濱町方面へ南下し四家少佐指揮の郡南を中心とする南軍と小名濱町玉川村境界附近で壯烈な遭遇戦を展開し、同夜は南軍は小名濱、北軍は玉川村へ夫々宿營の上翌一日早朝より再び鹿島村地内の山野に白兵戦を演ずる筈である

# 特産「サツマ芋」

## 今年は大當り

### 下り芋驅逐の安値で

#### 今が出盛り

泉、玉川村が中心の特産物「石城サツマ芋」は收穫期に入つて意外の大時化に襲はれ水かぶりによる品質低下を豫想されたが被害は割合に少く、今年は例年にならぬ豊作で三十萬貫以上の出荷を豫想され相場も實當り十二、三錢の安値で今年だけは水戸、千葉方面の下り芋を完全に驅逐出來るものと見られ、近づく寒さに焼芋禮讚の御婦人方にとつて嬉しいニュースである

平第二小學校で評議員會を開き團長補欠選舉其他を行ふ

看護婦急派 求めに應じます 平町南町 平看護婦會 電話三〇七

門 專 婦人科 花柳病科 入院隨意

# 井坂醫院

平町田町 電話五五九番

吸入用酸素純度 99%

度量器 寒暖計

# 關内藥局

電話四〇番

# 吉田眼科病院

平町屋町 電話六八番 醫學士 吉田久雄

寫真材料一式販賣致シマス

聯合女青 評議員會 石城郡聯合女子青 年開來る廿四日正午より

### 渡邊村農會

#### 役員會議

渡邊村農會は来る廿日午後一時より役員會議を開催し農産物品評會に關する件、水稻品種査定に關する件、その他に就いて郡農會より技術員を招聘して協議する

### 納税デーに

#### 兒童作品廻覽

平町各小學校呼應 平町各小學校は来る廿三日より四日間の納税デーに際し兒童より納税に關する綴方、圖書、書方等の作品を募集し各家庭に巡回廻覽し納税思想普及宣傳を圖ると

# 忽然！姿なき怪盗

## よひの平町繁華街

### 時計店々頭に出現

#### 遠來の貴金屬商御難

##### 三千餘圓の貴金屬を盗むて 通り魔的犯人姿をくらます

平町三丁目時計貴金屬商店頭に通り魔的怪盗一昨十八日栃木縣宇都宮驛通より小袋町時計卸小賣商外交員釜島顯勝(一)氏は取引先の平町三丁目星野時計店方を來訪同家主人が商用で綴方面に出張のため一寸街に出た約四十分間、午後六時十分より同五十分迄の間に店頭

に置いた貴金屬 八、九型クローム腕時計 六十五個△プラチナ七、八型腕時計二個△十八金八、九、十型腕時計四十個 △十八金長角五型腕時計 三個△クローム變型長角

腕時計十六個△タバン十 六型クローム懐中時計一 個その他 價格三千五百圓餘(現金百餘圓)在中の赤革靴を何物か姿なき怪盗に窃取されて居るを歸つて發見驚愕して平署に届け出た、尙屢にも平署前サクラ寫眞館に高價なレンズ電光犯人の出現を見て二三日前逮捕されたばかりの折も折として平署は異常に緊張、早速全管下に非常手配、萬一高跳びの疑あるため各地に手配する處あつた

犯人なる事判明署員を驚喜させてゐるがこれは茨城縣那珂郡下館町大字下館字稻荷町生れ當時住所不定前科二犯岡野竹男(二)で昭和九年五月平町に居住中窃盜罪で平區裁判所から懲役二年を言渡され宮城刑務所に服役去る十日出所した許りで

## 犯人の素性

### 平第一中途退學

#### 少年時代から手癖悪く

前記平署員に逮捕されたスビード窃盜犯人茨城縣生れ岡野竹男(二)は目下餘罪取調中であるが同人は平町字堂の前に居住尋常五年まで平第一小學校に在學中途退學してその後十九才より廿一才まで魚行商をやつてゐたが少時より手癖悪く行商の傍ら商家に忍び入り酒類洋服靴等手當り次第に搔拂ひ遊興に費し昭和九年五月宮城刑務所に服役する前にも窃盜前科一犯を持つてゐる年若ながら稀代の怪盗である

## 怪盗捕る

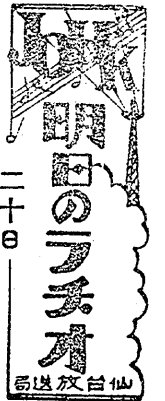
### 内郷の遊興男を

#### 不審訊問の結果

##### 去る十日に出所した計り

十八日午後六時十分より五十分までの間に行はれた平町三丁目時計店頭のスビード犯人の非常手配あつた綴駐在所巡査は直ちに村内

を密行捜査を開始したが十九日午前二時頃同綴驛裏手に當る地内山形屋料理店に登樓遊興中の青年を不審と睨み進行取調への結果前記



今晩も明日も南東の風天気次第に悪くなる

加藤三郎 後六、〇〇 子供の時間 お話「物の姓り汽車」菅野義丸 後六、二五 基礎英語講座 岡倉由三郎 後七、三〇 講演「ルストトイを偲ぶ」小西増太郎 後八、〇〇 常盤津 三人 生鮮常盤津政大夫外 後八、三〇 俚諺 岡本新内 後八、三〇 秋田秩父機 識唱古田ヒコ他 縁故節 横内武入他 後八、五五 物語「朝の喜び」伏見信子

平町三丁目時計店頭赤革靴窃取怪盗非常手配が生んだ拾ひ物の準強盜大捕物陣 十九日午前二時半頃別稿の如く時計取犯人が内郷で逮捕を見たので全町に配つた非常警戒網解除に出かけた平署大谷刑事、鈴木部長、庄司巡査は新川町を通行中ふと見ると此の深夜に同町雜貨商大室屋松崎長三郎方の表戸が一枚開いて

## 深夜表戸が一枚開け放し

### 警官隊が突入

#### 怪盜檢舉の副産的捕物

平町三丁目時計店頭赤革靴窃取怪盗非常手配が生んだ拾ひ物の準強盜大捕物陣 十九日午前二時半頃別稿の如く時計取犯人が内郷で逮捕を見たので全町に配つた非常警戒網解除に出かけた平署大谷刑事、鈴木部長、庄司巡査は新川町を通行中ふと見ると此の深夜に同町雜貨商大室屋松崎長三郎方の表戸が一枚開いて

ゐるのに不審を抱いて中へ入つて見ると消燈した屋内に金品物色中の怪しい人影を見出し誰何すると矢庭に立向つて来たので卅分間にわたり格闘の末逮捕したが捕へて見ると以外にも年若な少年賊で取調への結果豊岡村大字豊岡農務局由太郎(二七)と判明金品を盗まんとしたものと判明

△女中 廿才迄 月給五六圓  
△女中 廿才迄 尋卒 月給五圓仕着  
△自動車助手 廿才迄 日給五十錢  
△料理見習 廿三才迄 月給八圓  
△女中 卅五才 高卒  
△自動車助手 廿一才 尋卒  
△配達人 卅才 尋二修  
△旅館番頭 卅四才 高卒  
△料理人 四十四才 高卒  
△鐵筋職工 卅一才 高卒  
△鐵工 廿一才 高卒

## 家人の留守に

### 空巢侵入

紺屋町一佐藤三(二七)は去る十七日午後八時頃家中で入浴に行きたる留守中、空巢に入られ箆筒小抽出に入れ置いた十錢銀貨で十二圓程盗難にかゝり居るを十八日午後八時頃金を出すべく小抽出を開けて見て始めて發見、本日平署へ届け出た

## 警女琵琶演奏

高等女學校は昨日正午より同校講堂で琵琶演奏會を

## 蓄音機税に

### 猛然と反對

#### 石城の組合蹶起

平町を中心とする石城郡蓄音器業者十六名は本縣の新

蓄音器税に對し蓄音器の實用化を理由に絶對反對す

ることに決定、去る十七日組合長高倉精一氏外五名の幹部が本郡選出縣議を歴訪反對陳情し更に副組合長湯本町畑爲七氏を十八日正午より福島市商工會議所に開かれた縣蓄音器商組合聯合協議會へ派し聯合會と合流して反對氣勢をあげた

平職界紹介所報告  
△人を求める方  
△女中 廿才迄 月給五六圓  
△女中 廿才迄 尋卒 月給五圓仕着  
△自動車助手 廿才迄 日給五十錢  
△料理見習 廿三才迄 月給八圓  
△女中 卅五才 高卒  
△自動車助手 廿一才 尋卒  
△配達人 卅才 尋二修  
△旅館番頭 卅四才 高卒  
△料理人 四十四才 高卒  
△鐵筋職工 卅一才 高卒  
△鐵工 廿一才 高卒



# 明治太平記

(上段及上段) (作) 寺島在史 (監) 月田

## 第二百七十九回

### 蒸汽車 (四)

上等車には、ほかに数人の乗客はあつたが、彼等は茂平次とウエルズの、民族反感の寸劇とかかはりもなく、さつきからえん道の風物に見惚れ、蒸汽車の快速力にこころをおどらしてゐた。

だが、茂平治は、どうしてもこの乗客たちのやうに蒸汽車を無條件に禮讃する氣にはなれなかつた。したがつて快速力をよるこぶことも、えん道の風物を送迎する氣にもなれず胸は、やはり、ウエルズに對する民族反感でいつぱいだつた。

どつこいしよ、といはぬばかりに、茂平治もやがて席を立つた。車内をおよぐやうにして、彼もまた、婦人専用車の方へ足を運んだ。——けだもの、くせに……。 ささほど、役人につまみ出された口惜しさも手つたつてをるのだらう。茂平治は、ドアを排してのこゝ男子禁制の婦人専用へ、かけていつた。

装の上等社會の婦人と、差向ひに何やら話してゐた。日本政府の案出した婦人専用、鐵道乗用車規定を無視して、こゝろもちり身にかまへてゐる紅毛碧眼の態度に、ゆらに、茂平治の反感は強まつていつた。で、彼もまた、負けてゐず、そり身になつてぐつとウエルズたちを睨みつけた。肩肘を張り、毛の皮の胸着をふくらまして……。 するうち、はたして鐵道役人が、やつてきた。先づウエルズに退去を求めるか



亂れ咲く花々のやうに、かろく受け流して、文明國の見識をみせたやはらかな腰かけに、どかと腰をおろした。 さすがに、婦人専用だ。脂粉の色に車内は満ち、香水の匂が、茂平治の赤銅色の五體をもとろかすやう。ウエルズは、すでに、和

「こゝは上等車だぞ」  
「こんどは上等車を振廻した。」  
「知つてゐる」  
「おまへは、下等だろ」  
「これを見てくれ」  
茂平次は、上等車の切符を示した。  
「うむ……しかし、こゝは婦人専用であるぞ。みだりに男子の同席することはゆるさん」  
「なるほど……わしに、退去しろといはつしやるか」

「もちろん」  
「では、むかうにをる、異人さん二人、あれにも退去させて貰ひたい」  
「……あれは、特別待遇ぢや」  
何のために、特別の待遇をなさるかい」  
「あの方々は、文明國人である。婦人専用に入つても婦人に失禮ではない。」  
「ほう、日本人は、婦人に失禮だといはつしやるか」  
「ぢろん」

「おい」  
さう、頭から怒鳴りつけた。  
「おい」  
しかたなき、茂平次も同じやうに怒鳴り返した。

## 最新編物大講習會

主婦の友 婦人俱樂部 婦人公論 婦女界 推薦  
S式高速編物機の  
會期 十一月二十三日より四日間  
會場 平町田町 ハシモトヤ糸店  
時間 毎日午前九時より午後四時迄  
會費 會期中 金一圓也  
講師 東京大日本編物研究會  
特典 特派 西田豊野先生  
會期中專賣特許S式編物機を  
無料で御貸し申上げます  
主催 東京大日本編物研究會  
後援 主婦の友 婦人俱樂部 婦女界  
後地 平町田町  
ハシモトヤ糸店  
電 十四番

## 是非!

御融通には御用命下さい  
萬事便利な御相談に應じます

三井質店  
一平四・電六〇六番

## 福祿ストロブ福引

### 景品付大賣出し

景品總額五萬圓

期間昭和十年九月廿五日ヨリ十二月十二日マデ  
賣出規定  
福引券 ストロブ御買上ノ方ニ左ノ割合ニテ  
遊呈致シマス。

- フクロク 一號 大衆(中型)實(大小)各一本ニ付一枚
- フクロク 二號 大衆(天型) 各一本ニ付二枚
- フクロク 三號 各一本ニ付三枚
- フクロク 四號 各一本ニ付四枚

抽籤發表 昭和十一年二月十一日東京朝日新聞  
發表致シマス。  
景品引換 昭和十一年二月十五日ヨリ四月十五日迄  
福引券引換ニ最寄ノ代理店ニテ景品ト引換致シマス  
景品 福引券一千枚ヲ以テ一組トシ當選ノ  
方ハ左ノ景品ヲ差上グ

- 一等 百圓
- 二等 拾圓
- 三等 五圓
- 四等 五圓
- 福祿ストロブ販賣代理店 空籤ナシ

釜屋商店  
阿部石炭商店

かまぼこ製造  
お土産  
平町一丁目

不寐寶  
電話一四一番